

第1回1日目 「平成28（2016）年度 入退院支援連携デザインに関わる  
専門職リーダー養成研修（対象：医療ソーシャルワーカー中堅者）」開催要項

1. 目的： 入退院支援連携体制を構築するため、地域包括ケアシステムの基本理念や入退院支援連携デザイン事業の理解を深めることにより、患者・家族に質の高い入退院支援連携ができる医療ソーシャルワーカー等を養成し、地域包括ケアシステムに寄与することを目的とする。
2. 主催：沖縄県  
一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
3. 対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士 約30名  
（入退院支援連携業務の経験概ね5年以上の者）
4. 日時：2016（平成28）年 4月15日（金）
5. 場所：那覇市立病院 3階講堂  
那覇市古島2丁目31番地1 098-884-5111
6. プログラム：  
17：30～18：00 受付 プレアンケート  
18：00～18：10 開会挨拶（主催者・沖縄県高齢者福祉介護課）  
18：10～18：30 講演：「入退院支援連携デザイン事業の概要と連携の課題」  
講師：那覇市立病院 MSW 樋口 美智子  
（一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会会長）  
  
※ 地域包括ケアと入退院支援連携デザイン事業内容について説明。  
那覇市入退院支援連携デザインの取り組み結果より、効果及び連携の課題について報告します。  
  
18：30～18：45 質疑応答、休憩  
  
18：45～20：45 講演：「入退院支援連携デザイン事業の効果検証指標について」  
講師：社会医療法人明生会 道東脳神経外科病院  
副院長 関 建久氏  
（一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会会長）  
※北海道協会の取り組みを紹介し、入退院支援連携デザイン事業の効果指標について検討します。  
  
20：45～21：00 質疑応答、ポストアンケート、閉会挨拶（主催者）
7. 申し込み方法：申込書を記載の上、期限（4月8日）までにFAXにてお申し込み下さい。

第1回2日目 「平成28（2016）年度 入退院支援連携デザインに関わる  
専門職リーダー養成研修（対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士）」開催要項

1. 目的： 入退院支援連携体制を構築するため、地域包括ケアシステムの基本理念や入退院支援連携デザイン事業の理解を深めることにより、患者・家族に質の高い入退院支援連携ができる医療ソーシャルワーカー等を養成し、地域包括ケアシステムに寄与することを目的とする。
2. 主催：沖縄県  
一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
3. 対象：医療ソーシャルワーカー・社会福祉士 約90名  
（入退院支援連携業務の経験者、これから取り組む予定の者）
4. 日時：2016（平成28）年 4月16日（土）
5. 場所：那覇市立病院 3階講堂  
那覇市古島2丁目31番地1 098-884-5111
6. プログラム：
  - 9：30～10：00 受付、プレアンケート
  - 10：00～10：10 開催挨拶（主催者・沖縄県高齢者福祉介護課）
  - 10：10～10：35 講演：「入退院支援連携デザイン事業の概要と連携の課題」  
講師：那覇市立病院 MSW 樋口 美智子  
（一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会会長）

※ 地域包括ケアと入退院支援連携デザイン事業内容について説明。  
那覇市入退院支援連携デザインの取り組み結果より、効果及び連携の課題について報告します。

  - 10：35～11：00 講演：「退院支援加算の算定のポイント」  
講師：大浜第一病院 MSW 當銘 由香  
（一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会事務局長）

※平成28年度診療報酬改訂をふまえ、退院支援の算定のポイントを説明します。

  - 11：00～12：00 講演：「在宅医療を推進する退院支援の現状と課題」  
講師：社会医療法人明生会 道東脳神経外科病院  
副院長 関 建久氏  
（一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会会長）

※病院にソーシャルワーカーがいる意味を経営側の視点より捉え、クライアントの福利と機関の質向上を目指した退院支援の必要性について提起します。

  - 12：00～13：00 昼食

13：00～13：30 講演：「退院支援におけるソーシャルワークの視点」

講師：那覇市立病院 MSW 島袋 恭子

（一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会副会長）

※ ソーシャルワークの価値・倫理、理論と実践とのつながりについて、理論を活用した事例を通して皆さんと一緒に考えます。

13：30～14：15 グループワーク：

「クライアントの全体像を、エンパワメントの視点でアセスメントしてみよう。」

講師：那覇市立病院 MSW 島袋 恭子

（一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会副会長）

※ 架空事例を用いた演習を通して、退院支援におけるソーシャルワークの視点を共有します。

14：15～15：30 講義：「業務開発とマネジメント」

講師：関 建久氏

※医療ソーシャルワーカーの機関における役割、地域における役割について実践例を用いて概説し、メゾレベル、マクロレベルの業務の展開方法を示します。

15：30～15：40 休憩

15：40～16：40 グループワーク：「業務開発とマネジメント」

※所属機関における課題を明らかにし、「ソーシャルチェンジ」の手法を活用し活動計画を立ててみます。

16：40～17：00 質疑応答、閉会挨拶（主催者）、ポストアンケート

7. 申し込み方法：申込書を記載の上、期限（4月8日）までにFAXにてお申し込み下さい。

**第1回3日目 「平成28（2016）年度 入退院支援連携デザインに関わる  
専門職リーダー養成研修（対象：多職種）」開催要項**

1. 目的： 入退院支援連携体制を構築するため、地域包括ケアシステムの基本理念や入退院支援連携デザイン事業の理解を深めることにより、患者・家族に質の高い入退院支援連携ができる医療ソーシャルワーカー等を養成し、地域包括ケアシステムに寄与することを目的とする。
2. 主催：沖縄県  
一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
3. **対象：医療ソーシャルワーカー・看護師等、入退院支援連携を担う実務者  
介護支援専門員、地域包括支援センター職員  
その他「地域包括ケアシステム」に関わる者  
約120名**
4. 日時：2016（平成28）年 4月17日（日）
5. 場所：那覇市立病院 3階講堂  
那覇市古島2丁目31番地1 098-884-5111
6. プログラム：
  - 8：30～9：00 受付 プレアンケート
  - 9：00～9：10 開催挨拶（主催者・沖縄県高齢者福祉介護課）
  - 9：10～9：30 講演：「入退院支援連携デザイン事業の概要と連携の課題」  
講師：那覇市立病院 総合相談センター 樋口 美智子
  - ※ 地域包括ケアと入退院支援連携デザイン事業内容について説明。  
那覇市入退院支援連携デザインの取り組み結果より、効果及び連携の課題について報告します。
  - 9：30～11：45 講演：「地域包括ケアシステムにおける多職種連携のあり方」  
講師：社会医療法人明生会 道東脳神経外科病院  
副院長 関 建久氏  
(一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会会長)
  - ※入退院支援連携デザイン事業について、北見市の取り組み事例を紹介し、多職種連携における目指す方向性を確認します。
  - 11：45～12：00 閉会挨拶（主催者）、ポストアンケート
7. **申し込み方法：申込書を記載の上、期限（4月8日）までにFAXにてお申し込み下さい。**